

普及センターだより

No.128

MISATO

発行 宮城県美里農業改良普及センター

〒987-0005 遠田郡美里町北浦字笹館5

TEL (0229) 32-3115 E-mail msnokai@pref.miyagi.lg.jp

FAX (0229) 32-2225 URL <https://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/>

〔有〕マルセンファーム「第7回ディスカバー農山漁村の宝」準グランプリ受賞

普及の窓 「人の持つ力」

美里農業改良普及センター
所長 大友 慎次

コロナ感染予防のため、顔をあわせてじっくりと話しをするのが難しい時期が長く続いています。会って話したいなあと思う人の顔が、何人も浮かんでは消えます。しかたないと思いつつながら、なんかものたりない、寂しいと感じてしまう日があります。

そんな中で、農業の現場には、熱い気持ちを内に秘めてがんばっている若い農業者、地域の皆に気をかけながら牽引する組織のリーダー、不安と期待を胸に新たなことに挑戦しよう、異常気象があっても粘り強く取り組もう、としている方々など、多くの元気な農業者の姿があります。普及活動の中で、そういう方々にふれあうと、熱い気持ちやエネルギーをいただくことができ、リフレッシュした気分になります。人の持つ力はすごいものとあらためて感じます。

皆様からいただけるエネルギーに感謝しながら、コロナ禍を乗り切り、今後の営農が発展できるよう、皆様と取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

令和3年度プロジェクト課題紹介

本年度は3つのプロジェクト課題に取り組みます

土地利用型農業法人の早期経営安定

涌谷町小里地区は、低地で営農が困難であったことから県営ほ場整備事業が行われ、事業に伴い農地の担い手の話し合いを行い、令和元年に集落営農組織を前身とした農事組合法人おさとファームが設立しました。組合員は15人で、令和3年度の経営面積は、水稲、大豆、小麦を合わせて計36.9haとなっています。

現在は5人の役員が中心となって運営を行っていますが、将来の後継役員の確保・育成に向けて、令和3～4年度の2年間、具体的な経営計画の策定や法人経営管理能力の向上、主幹作物である麦・大豆の安定生産技術定着による持続的な法人経営確立を支援します。



定例役員会の様子

地域の特色を生かした「吟のいろは」の産地化の実現

古川農業試験場で育成された「吟のいろは」は、大粒で心白発現率が高い特性を持つ酒造好適米です。

松山町酒米研究会では、地元の酒蔵と結びついたJAS有機米や、特別栽培による酒米生産に取り組んでいます。

昨年度は、研究会と協力して栽培データを収集し、現時点での理想とする肥培管理について共有を図りました。また、酒造組合等関係機関とも情報交換を行い、「吟のいろは」に対する情報共有を行いました。

今年度も引き続き、栽培技術確立及び種子確保に向けた支援、関係機関と連携した産地化に向けた支援を行ってまいります。



栽培試験設計打ち合わせの様子

持続的な生産に向けたこねぎ栽培技術の向上

J A新みやぎみどりの地区本部、J A新みやぎ仙台こねぎ部会と連携し本プロジェクトに取り組んでいます。

昨年度は、熟練生産者の栽培管理技術をセンサー等により数値化する「見える化」を行い、データを部会員に情報提供しました。あわせて、複数の栽培ほ場を調査した結果、土壌物理性改善や土壌病害の抑止対策を行うことで、更なる安定生産が見込めると考えられました。

今年度は、「見える化」の取組を継続して栽培管理技術の高位平準化を図るとともに、土壌環境の改善に取り組み、こねぎの反収向上および高品質生産を支援してまいります。



栽培技術「見える化」調査ほ場

重点的な普及活動の紹介

活動項目	内 容	対 象
新規就農者の確保・育成に関する取組 (新規就農)	新規就農者の確保・育成を図るため、就農や研修に関する相談に対応する。また、国の制度等の活用に向けて支援します。	学生 教育機関 農業研修生 新規就農者
園芸産地の育成に関する取組 (園芸重点)	「みやぎ園芸特産振興プラン」の目標達成に向けた生産振興を支援します。	対象農業経営体
地域農業を担う集落営農等の法人化に関する取組 (農業経営管理)	集落営農等の経営の高度化を支援し、法人化に向けた取組を支援します。	対象生産組織
「金のいぶき」による地域活性化に関する取組 (地域実情)	「金のいぶき」の生産性及び品質向上を支援します。	管内「金のいぶき」生産者

管内農業の動き

**「第7回ディスカバー農山漁村の宝」
準グランプリ受賞おめでとうございます！**

大崎市鹿島台の農業法人有限会社マルセンファームが、農林水産省主催「第7回ディスカバー農山漁村の宝」ビジネス部門で準グランプリ賞を受賞しました。「ディスカバー農山漁村の宝」は、強い農林水産業や美しく活力ある農山漁村実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例が選定されます。

(有)マルセンファームは、これまでの事業を通じた所得向上や雇用を生み出す取組などが評価されました。

農業士の紹介



**指導農業士
氏家敦子さん**

葉ねぎを中心とした生産に取り組む先進的な担い手です。

規模拡大を進めながら農福連携や地域雇用の

創出などにも貢献しており、地域農業を牽引する存在です。



**指導農業士
手嶋真也さん**

花卉園芸、特に鉢物生産を営む地域の代表的な担い手です。

品評会では、その高い技術力から多くの賞を

受賞され、産地育成、さらには後継者育成にも貢献されています。



**青年農業士
齋田綾華さん**

水稻生産を中心とした担い手で、環境に配慮した栽培に取り組んでいます。

食育活動にも取り組んでおり、

女性農業者視点での活躍も期待されています。